

日本遺伝性腫瘍学会家族性腫瘍カウンセラー制度細則

第1章 総則

(目的)

第1条 この細則は、一般社団法人日本遺伝性腫瘍学会（以下、日本遺伝性腫瘍学会という）—制度規則（以下、「規則」という）の施行について必要な事項を定める。

(HTC/FTC 制度小委員会の委員)

第2条 規則第3条に定める HTC/FTC 制度小委員会の委員は、以下の構成とする。

委員長および委員は、医療に関わる職種（医師、看護師、助産師、保健師、薬剤師、臨床検査技師など）の職種構成を考慮して、日本遺伝性腫瘍学会理事会が推薦する。

第2章 申請・登録

(家族性腫瘍カウンセラーの申請手続き)

第3条 家族性腫瘍カウンセラーの申請には以下の各号に定める書類ならびに審査料が必要である。申請に必要な書式は日本遺伝性腫瘍学会のホームページからダウンロードすることができる。

- (1) 家族性腫瘍カウンセラー申請書（書式①）
- (2) 履歴書（書式②）
- (3) 遺伝性腫瘍セミナー（旧家族性腫瘍セミナー）受講修了証（セミナー受講時に授与）あるいは事務局が発行した受講証明書の縮小コピーを貼付した書式（書式③）
- (4) 臨床遺伝専門医あるいは認定遺伝カウンセラーの資格を証明する書式の縮小コピーを貼付した書式（書式④）
- (5) 審査料（5,000 円の振込を証明する書類：振込証書のコピー等）（書式⑤）

(家族性腫瘍カウンセラーの登録手続き)

第4条 家族性腫瘍カウンセラーの登録は、審査結果が申請者に通知された後、以下の登録料が事務局に送付され、称号証書が発行されたことをもって完了とする。

- (1) 登録料（10,000 円の振込） *一旦受領した費用は、返還しない。

第3章 更新

(家族性腫瘍カウンセラーの更新手続き)

第5条 家族性腫瘍カウンセラーの更新には有効期間中に以下の各号に定める必修単位および研修単位の取得ならびに更新料が必要である。

有効期間中に 1 回以上の遺伝性腫瘍セミナー（旧家族性腫瘍セミナー）もしくはアドバンスセミナー参加（10 単位）および学術集会参加（5 単位）の 15 単位を必修単位とし、これに選択単位 35 単位を加え合計 50 単位以上の取得を必要とする。

< 必須単位：15 単位 >

- (1) 日本遺伝性腫瘍学会の主催する遺伝性腫瘍セミナーもしくはアドバンスセミナーへの参加 10 単位（1 回以上の参加を必修とする）

*セミナーを主催したものはセミナー修了と同等とみなす

- (2) 日本遺伝性腫瘍学会学術集会への参加 5 単位（1 回以上の参加を必修とする）

< 選択単位：35 単位 >

- (3) 日本遺伝性腫瘍学会学術集会での発表（演者）10 単位
 (4) 日本遺伝性腫瘍学会学術集会での発表（共同演者）5 単位
 (5) 学会誌（家族性腫瘍）への論文発表（著者）10 単位
 (6) 学会誌（家族性腫瘍）への論文発表（共著者）5 単位
 (7) 日本遺伝性腫瘍学会の主催するセミナーでの講師 10 単位
 (8) 日本遺伝性腫瘍学会の主催するセミナーでのファシリテーター 10 単位
 (9) その他、日本遺伝性腫瘍学会の主催する臨時のセミナー（以下、生涯研修セミナー）への参加 5 単位

*有効期間中に遺伝性腫瘍セミナー（旧家族性腫瘍セミナー）および学術集会に複数回参加した場合は、必修単位を超過する分を選択単位に充当して更新手続きが可能である。

< 申請に必要な書類 >

- (1) 家族性腫瘍カウンセラー更新申請チェック票（書式⑥）
 (2) 更新申請書（書式⑦）
 (3) 更新単位集計表（書式⑧-1）
 (4) 遺伝性腫瘍セミナー（旧家族性腫瘍セミナー）（10 単位）、アドバンスセミナー（5 単位）への参加記録（書式⑧-2）
 (5) 日本遺伝性腫瘍学会学術集会（5 単位）への参加記録（書式⑧-3）
 (6) 日本遺伝性腫瘍学会の学術集会での演題発表、学会誌への論文の業績一覧（書式⑧-4）
 (7) 遺伝性腫瘍セミナー（旧家族性腫瘍セミナー）での講師・ファシリテーターの記録。（書式⑧-5）
 (8) 資格を証明する証書写し（書式⑨）
 (9) 更新料（10,000円の振込を証明する書類：振込証書のコピー等）（書式⑩）

*更新に必要な書式は、日本遺伝性腫瘍学会のホームページからダウンロードすることができる。

*更新の延長期間は 3 年未満とし、延長期間は有効期間に含むものとする。

第4章 再交付

(改姓、紛失等による称号証書の再交付申請手続き)

第6条 改姓、紛失等により、称号証書の再交付を必要とする場合は、以下の書類を添えて申請することができる。

- (1) 再交付願
- (2) 本人確認書類(パスポート、運転免許証、健康保険証等のコピー)
*改姓があった場合、いずれかの書類にて確認
- (3) 再交付料 (2,000円の振込を証明する書類：振込証書のコピー等)

第5章 申請・更新・再交付書類の提出先と期限

(手続き書類の提出先と提出時期)

第7条 手続きに関わる書類の提出先と受付期限は、以下のとおりである。

- (1) 提出先は、以下とする。
〒164-0001 東京都中野区中野 2-2-3 株式会社 へるす出版 事業部内
HTC/FTC 制度小委員会事務局 「申請、更新あるいは再交付願書類在中」と朱書きのこと
- (2) 受付期限
 - (i) 申請の場合は毎年 11 月 15 日から 12 月 15 日 (当日消印有効)
 - (ii) 更新の場合は各称号の有効期間最終年度終了期限の約 2 ヶ月前 (12 月 16 日から翌年 1 月 10 日) (当日消印有効)
 - (iii) 再交付の場合は、随時受け付ける

(細則の改定)

第8条 本細則の改定は制度委員会での決定により行うものとする。

(雑則)

第9条 この細則に定めるもの以外に、規則の実施に際して必要な事項は、制度委員会が定める。

附則

(施行期日)

1. 本細則は2019年6月17日より施行する。
*本規則は、家族性腫瘍コーディネーターの制度変更に伴い、家族性腫瘍コーディネーター・家族性腫瘍カウンセラー制度規則(2011年5月27日施行)をもとに作成し2019年6月13日承認を得たものである。
*セミナーおよび生涯教育の内容については、遺伝性腫瘍セミナー委員会へ移行する。
2. 本規則は2021年4月1日に改定し、同日より施行する。

別表1 遺伝性腫瘍定例セミナーの構成

I. 講義

1. 講師口演
2. 教育ツール（テキスト、パワーポイントファイル、Video、CD、DVD 等）配布

II. 演習

1. ロール・プレイ（必須）
 - 1) 小グループ演習
 - 2) ファシリテーターの活用
 - 3) 全体討論
 - 4) FACT シート活用（教育ツール）
2. 家系情報聴取と家系図作成
3. コミュニケーション・スキル演習

別表2：家族性腫瘍カウンセラー 習得すべき内容

I. 総論（総時間：15 時間、講義 12 時間、演習 3 時間）

1. 腫瘍関連領域
 - 1) 腫瘍疫学（総論）
 - 2) 腫瘍病理学
 - 3) 臨床腫瘍学
 - i) 疫学（各論）
 - ii) 症候学
 - iii) 診断学
 - iv) 治療学
 - v) サーベイランス
 - 4) 精神腫瘍学
2. 遺伝関連領域
 - 1) 基礎人類遺伝学、臨床遺伝学
 - 2) 腫瘍遺伝学
 - i) 散発性腫瘍（発癌メカニズム、臨床応用）
 - ii) 家族性腫瘍（腫瘍発生のメカニズム理解と患者家系への応用）
 - 3) 遺伝学的検査
 - 4) 薬理遺伝学
 - 5) その他
3. 遺伝カウンセリングおよびマネージメント
 - 1) がんの遺伝カウンセリング総論

- 2)腫瘍および遺伝に関する情報収集と提供
- 3)コミュニケーション・スキル
- 4)倫理的・法的・社会的問題 (ELSI)
- 5)患者・家系の支援
- 6)社会的資源
- 4.その他に家族性腫瘍の臨床に関連した内容やトピックス

II.各論 (総時間：36 時間、講義：21 時間、ロールプレイ等演習：15 時間)

1.内容

- 1)疾患概要 (疫学、原因、症候等)
- 2)臨床 (診断、治療、成績)
- 3)遺伝学的背景
- 4)遺伝学的検査 (適応、方法、意義と限界)
- 5)リスク評価法
- 6)遺伝カウンセリング
- 7)サーベイランス
- 8)支援体制

2.対象疾患

- 1)神経、感覚器
 - 網膜芽細胞腫(retinoblastoma:RB)
 - 神経線維腫症 1 型 (neurofibromatosis 1:NF1)
 - 神経線維腫症 2 型 (neurofibromatosis 2:NF2)
 - 結節性硬化症(tuberous sclerosis)

2)皮膚

家族性皮膚基底細胞がん (Gorlin syndrome)

3)内分泌

多発性内分泌腫瘍症 1 型 (multiple endocrine neoplasia 1:MEN1)

多発性内分泌腫瘍症 2 型 (multiple endocrine neoplasia 2:MEN2)

4)運動器 (骨、筋肉)

多発性外骨腫(multiple exostoses)

5)腎、泌尿器

フォン・ヒッペル・リンドウ病 (Von Hippel-Lindau syndrome:VHL)

ウィルムス腫瘍 (Wilms tumor:WT)

6)消化器

ポリポーシス症候群

家族性大腸腺腫症 (familial adenomatous polyposis:FAP)

MUTYH 関連ポリポーシス (MUTYH associated polyposis:MAP)

ポイツ・ジェガーズ症候群 (Peutz-Jeghers syndrome:PJS)

若年性ポリポーシス症候群 (juvenile polyposis syndrome:JPS)

カウデン病(Cowden disease)

非ポリポーシス症候群

リンチ症候群(Lynch syndrome)

遺伝性消化管間質性腫瘍 (gastrointestinal stromal tumor:GIST)

7)乳腺・生殖器

家族性乳がん卵巣がん症候群 (familial breast ovarian cancer syndrome:FBOC)

8)多臓器

リ・フラウメニ症候群 (Li-Fraumeni syndrome:LFS)

9)高発がん性遺伝病

色素性乾皮症 (xeroderma pigmentosum:XP)

毛細血管拡張性運動失調症(ataxia telangiectasia:AT)

ファンconi貧血 (Fanconi anemia:FA)

ブルーム症候群(Bloom syndrome:BLM)

ウェルナー症候群(Werner Syndrome:WS)

10)その他